

ライステロールエステル

抱水性・水蒸気透過性に優れ「皮膚バリアを形成」

【特長】 米ぬかから生まれた天然保湿エステル油剤
ステロールと γ -オリザノールに富んだ皮膚バリア原料
体温付近で流動性を生じ塗布感に優れたベース基剤としても使用可能

【コンセプト】

抱水性・水蒸気透過性に優れ古くから日本の女性たちが美容に役立ててきた米ぬか。現代のように多様な化粧品がなかった時代、女性たちは「美しい肌を手に入れたい」と「ぬか袋」を作り、肌の手入れに役立てていた。

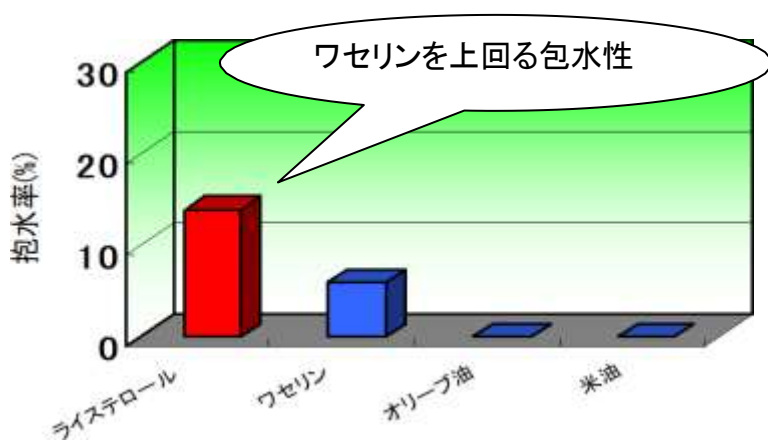
近年の研究では、米ぬかには美容に役立つさまざまな成分が含まれる事が科学的に解明され、米ぬかの良さが再認識されてきています。ライステロールはこめサラダ油よりもステロールと γ -オリザノールが豊富に含まれる優れた油です。抱水性や水蒸気透過性に優れており、**皮膚にバリアを形成することで炎症から守ります。**

また、体温付近で急激に粘度が低下する為、皮膚上での塗布感にも優れています。



【効果・効能】

抱水性データ

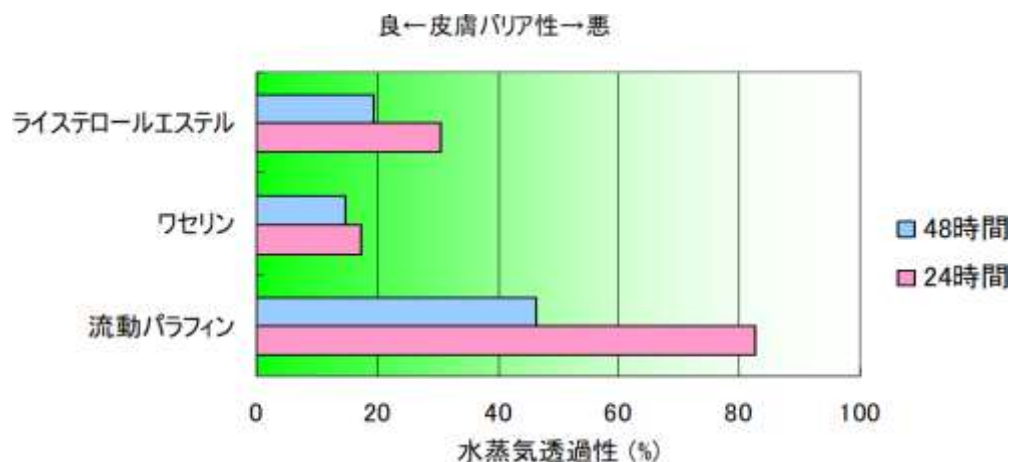


-測定方法-

英国薬局方(BP)のラノリン含水率測定法に準じて行った。

試料 10g に、精製水を 0.2 から 0.5mL ずつ添加しながら練り込み、水が入らなくなった点を終点とし、試料に対する百分率で示した。

皮膚バリア性



試験方法

サンプル瓶に塩化カルシウムを入れ、油分(各種油剤:流動パラフィン=1:1)を塗布したろ紙を固定する。この瓶を 25°C、80%RH の環境下に 48 時間放置し、24 時間ごとにろ紙の油膜を通して塩化カルシウムが吸収した水蒸気の量を測定した。無塗布の(油分を塗布しない)ろ紙を用いた場合の重量増加を 100%とし、それに対する割合を水蒸気透過性として示した。

人々は紫外線など常に有害物質にさらされています。本来、肌は水分を保持する事で保護されていますが、ダメージを受けた肌は、水分が保持できなくなり、かゆみの発生・炎症を起こします。

ラウステロールエステルは皮膚を保護する働きがあり、肌の水分の拡散を防ぐ事により、炎症から肌を守る働きがあります。

バリアを形成する事で、敏感肌や乾燥肌を炎症から守る、天然から得られる(化学合成されていない)ステロールエステルです。

【商品情報】

商品名:ラウステロールエステル

表示名称:コメヌカ油フィトステリル

医薬部外品表示名称:オレイン酸フィトステリル

種別許可基準:上限配合なし

推奨配合量:0.5%~1%

製造元:築野食品工業

これは原材料に関する成分内容の説明、科学的データの紹介等をしており、
効能効果を説明、保証するものではありません。また無断使用、無断転載を禁止します。